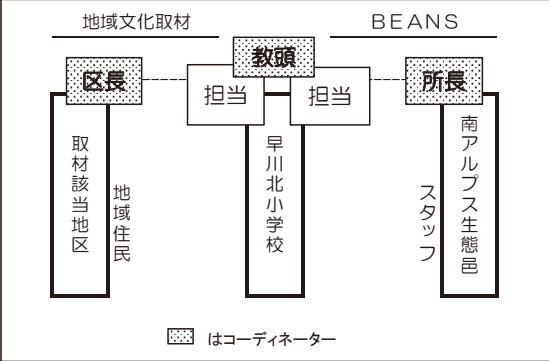


# 地域と学校が一体となった教育が行われています —地域文化と自然科学—

<b>山梨県早川町</b>		● 活動名 <b>早川北小学校学校支援活動</b>		● 関係する学校名 <b>早川町立早川北小学校</b>	
開始年度	昭和 52 年度	学級数	4 学級	児童・生徒数	14 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 環境整備 <input type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 3 人	連携団体・企業等	老人クラブ 南アルプス野鳥公園
ボランティアの数	登録人数 26 人	属性	地域住民、PTA		
参考 URL	http://www.hayakawa-kitasho.ed.jp/				
● 連絡先	早川町教育委員会		☎ 0556-45-2547		

● 体制図



● 活動の概要・経緯  
おもに総合的な学習の時間で、地域の方々との協働的な活動を行っている。内容は二つあり、一つは、地域の民話や文化の取材活動で、「わらべ」の時間としている。昭和 52 年度から続いており、取材地区の区長さんは、人集め・会場準備等、取材環境を整えてくれ、児童は取材を基に話し合いと練習を重ね、民話劇を作り上げる。演劇を上演する『わらべどんぐり祭り』には、町内の多数の方が来校する。もう一つの活動は、学校に隣接する野鳥公園のスタッフと地域の方々の協力で、課題解決型の自然科学教育活動を行っている（「BEANS の時間」）。児童は、個別のテーマを持ち、野外調査・研究を行う。研究発表会には保護者や地域の方々が来校する。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- ・「わらべ」で学校が大切にしているのは、取材や話し合いに時間をかけ、児童の手で台本を作る過程である。地域の方々は、民話に係わる昔の生活情報を惜しみなく児童に伝えてくれる。取材は、全校児童がテーマ別に縦割りグループに分かれて行っている。
- ・「BEANS」では児童一人1テーマで活動を進める。研究テーマは事前の合同観察や前年度の研究から児童自身が決めている。実際の自然の中で専門的なスタッフから支援を受け、地域住民とも関わりながら本格的に自然科学の方法を学べるのは強みである。全体の調整、スタッフの指導、学校職員研修には、野鳥公園所長があたっている。

【実施にあたっての工夫】

- ・「わらべ」の取材は年度ごとに地区を変えて行っている。取材地区の区長さんや老人クラブ会長さんと学校の担当者が事前に打ち合わせを行って取材の日を迎える。取材中、民話の場所を案内してもらうこともある。民話劇稽古では方言指導もしていただく。
- ・「BEANS」では、野鳥公園スタッフに、学校の教育課程について共通理解を持ってもらった上で専門知識を生かしてもらうために、学校職員と事前の話し合いを十分に行っている。活動地域周辺の住民にも BEANS の活動を知らせ、農作業や散歩の折に声かけをしてもらったり情報を教えてもらったりしている。
- ・町が進める山村留学制度と連携しながら進めている。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・児童の自然への興味関心が深くなり、課題解決能力、コミュニケーション能力が向上している。
- ・地域の方々が児童への心配りをしたり、学校教育に参加・協力しようという気持ちを強めている。
- ・調査を通じて児童と地域の方々の交流が深まり、地域文化伝承の一助になっている。

● その他

「BEANS」は、生態計画研究所が運営受託している『南アルプス生態邑』と連携している。南アルプス生態邑が運営しているのが「南アルプス野鳥公園」である。  
ICT 活用は、BEANS の研究発表の際、児童が iPad を使っている。



地域取材  
早川地区の取材の様子



BEANS  
野生動物のフンを洗う児童

ポイント

子供たちが地域へ出て行って取材や調査研究をしていく活動を通して、地域を知り、地域を学び、地域で交流するところがとても素晴らしいですね。